山田北小でカレーのお振る舞い
温かなごはんに満面の笑み

温かくてとってもおいしい――。山田アマチュア無線ネット赤十字奉仕団（上野祐一委員長）主催のカレーライスのお振る舞いが７月17日、山田北小学校（佐々木信一校長、児童66人）で行われました。これは同奉仕団が、みんなで同じものを食べる幸せを感じてもらおうと企画したものです。体育館に集まった子どもたちは、奉仕団員から出来立てのカレーライスとデザートのスイカを受け取ると、温かいごはんに目を輝かせながら口いっぱいに頬張っていました。

小川にはどんな生物がいるかな？
町内小学生が水生生物調査

７月２日から７月17日にかけ荒川、豊間根、大沢、山田北、織笠、船越、大浦の各小学校において水生生物調査が行われました。これは、子どもたちに身近な小川にすむ生き物を知ってもらうとともに、大切な水資源に触れ合ってもらおうと町が企画したものです。参加した子どもたちは、冷たい川の中を手さぐりで調査しました。生き物を見つけた子どもたちは早速、水生生物の見本と見比べながら生態などをチェック。身近な小川で新たな発見をした子どもたちの目は、好奇心に輝いていました。

胆沢平野土地改良区から支援
町にモーターボートを寄贈

胆沢平野土地改良区（及川正和理事長）から町に対しモーターボートが寄贈されました。７月10日、この贈呈式が役場駐車場で行われ、同土地改良区のほか、山田町土地改良区と町、県の関係者ら約20人が出席。式では及川理事長が「当土地改良区の新人研修では、山田町に大変お世話になった。このボートを海洋教育で活用してもらい、子どもたちの希望の一助になれば大変喜ばしい」とあいさつしました。今回寄贈されたボートは、町教育委員会において海洋教育の監視指導船として活用されます。

保健センターで縁日イベント開催
子どもらの歓声が響き渡る

７月17日、ソニー生命保険株式会社（井原勝美社長）主催による「元気が出る縁日ｉｎ山田町」が、保健センター駐車場で開催されました。これは平成23年に同社の社員が被災地を元気づけようとボランティアでイベントを開催したのがきっかけで、今回で３回目。当日は雨となりましたが、会場には親子連れなど約1,000人が詰め掛け、子どもたちは黒ひげ危機一髪やストラックアウト、輪投げなどに時折歓声を上げながら多彩な催しものを満喫していました。

町のわだい

今月の題字　山﨑　涼平（りょうへい）くん（大浦小３年）

畠中遺跡発掘調査現地説明会の様子

畠中遺跡発掘調査現地説明会
先人の暮らしに思いをはせ

７月13日、大浦小学校向かいの畠中（はたけなか）遺跡において、発掘調査の現地説明会が行われました。これは、高台道路建設に伴う同遺跡の発掘調査が終了となることから町が開催したものです。同遺跡は、縄文時代後期から晩期と、奈良時代から平安時代にかけてのものであり、縄文土器や土偶、ヒスイの首飾りなどのほか、製鉄の跡を示す炭窯や鉄滓（てっさい）、ふいごの羽口なども出土。訪れた約120人の参加者らは、発掘現場で調査員の説明に熱心に耳を傾けたり、土偶などの遺物を直に触ったりして、先人の暮らしに思いをはせていました。

山田高校生が町内外で職場体験
自らの将来について考える

県立山田高校の２年生59人が7月17日から18日まで、職場体験学習を行いました。生徒らは、町内外の飲食店や保育園、理美容室など34事業所の協力のもと、希望する職場を訪問。仕事を手伝いながら勤労の尊さや意義について勉強しました。このうち、理容室カットインみなとには生徒３人が訪れ、理容師の指導を受けながらカットなどを体験。３人はハサミを片手にマネキンに向かい、真剣な表情で心構えや大変さを学んでいました。

※この記事と写真は、町総務課へ職場体験に訪れた里舘七聖（ななせ）さん（山田高校２年）が取材し、作成したものです。